



初恋

の
あ
ま
り
の
ま
ま

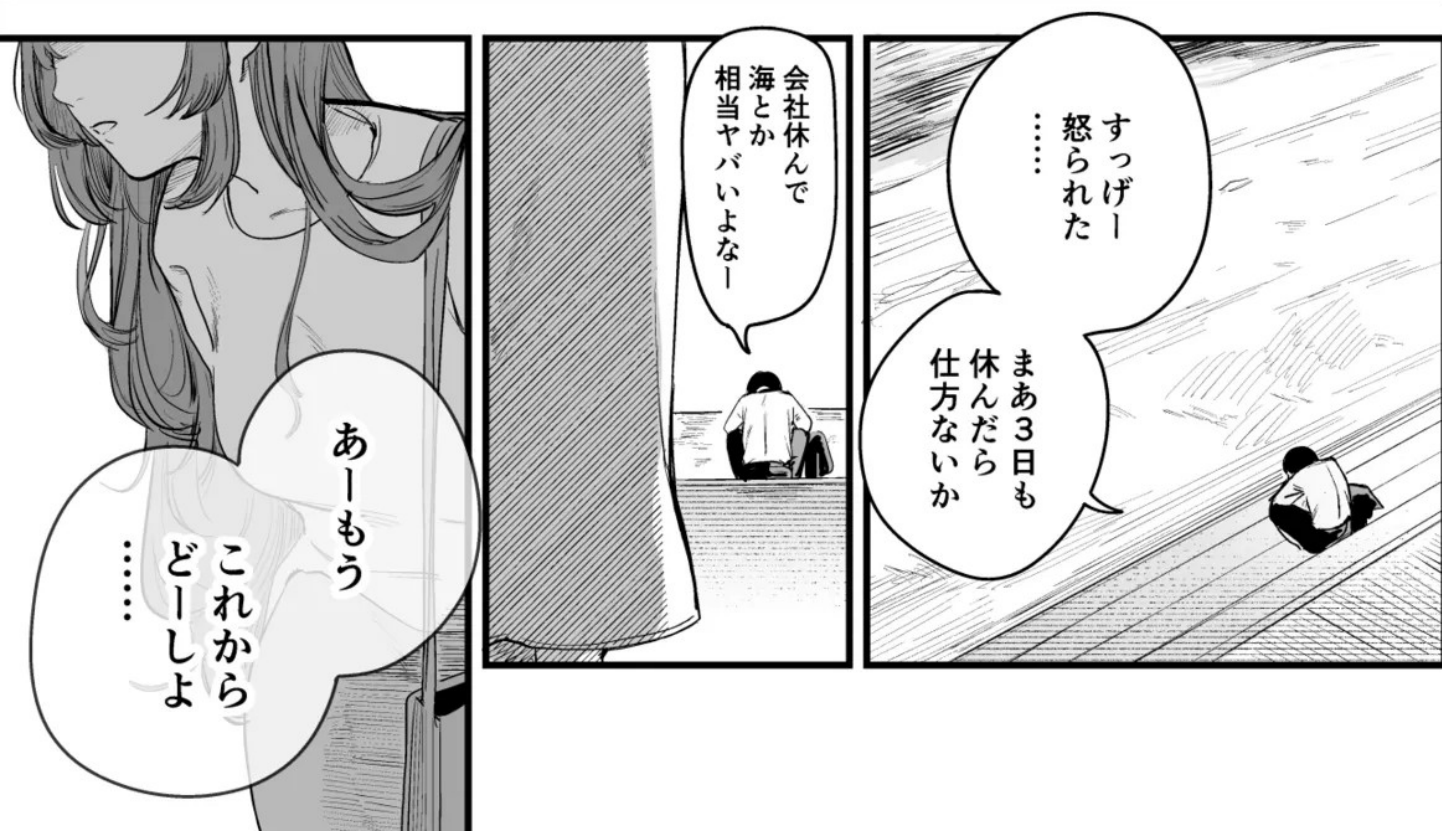
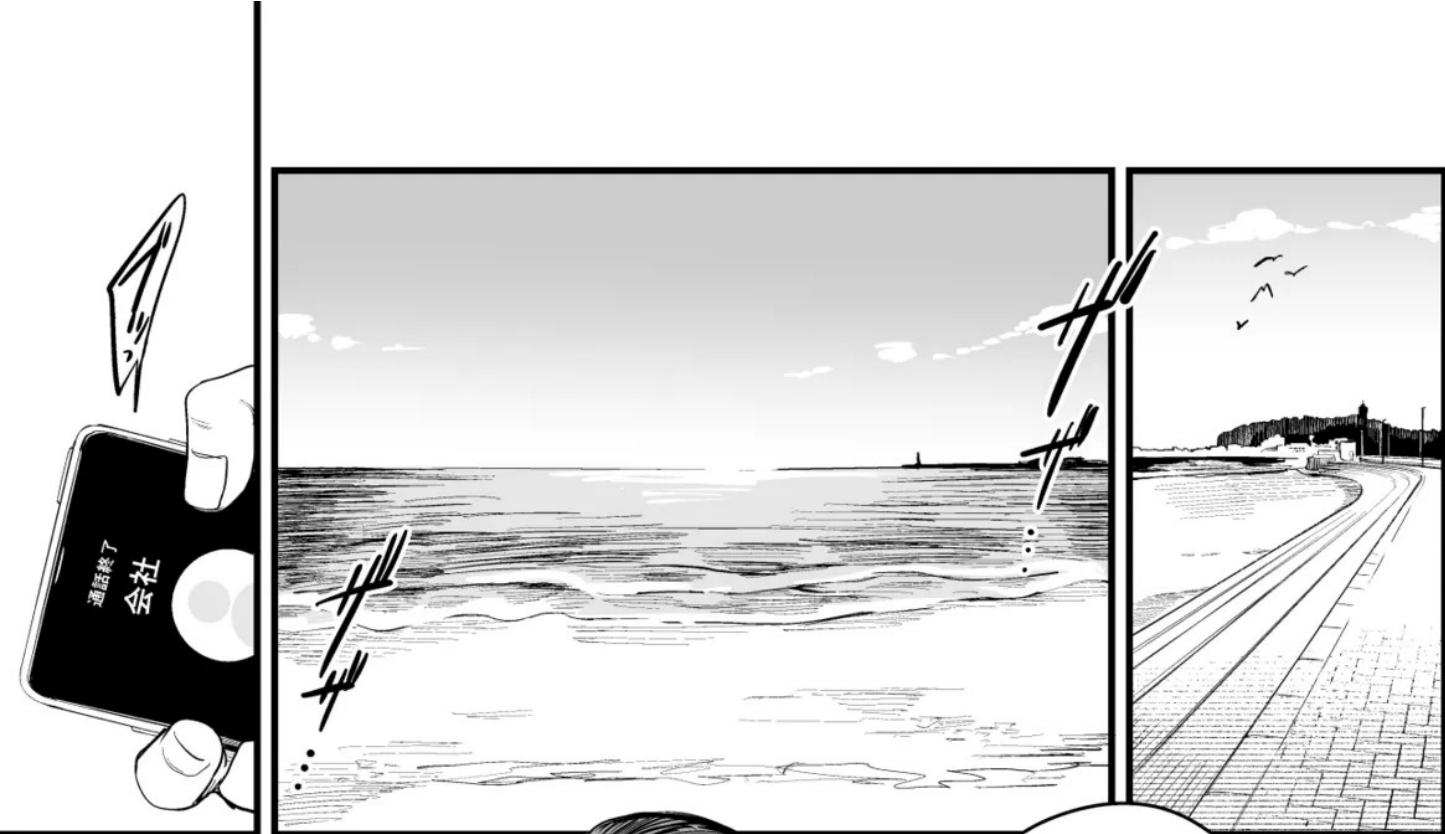
初恋は苦い青春の味

siu



無断転写・複写・転用・web上へのアップロードを禁止します。

オクロを忘れるな





えっ!?



もしかして
帆士くん?



わあ
やっぱ
りそう
だ!

すっご
い久し
ぶり



当時は俺なりに
大事にしてきた
つもりだったけど



別々の大学に
なつてからは
疎遠になつて――



スミちゃん
……?

スミちゃんは
高校のころ
付き合つてた

唯一の彼女

もう
会えないかと
思ってた

隣座っても
いい？

あ……
もちろん

わー！
本当に
ビックリした！
4年ぶり？

うん……
それにしても
よくわかったね
俺のこと

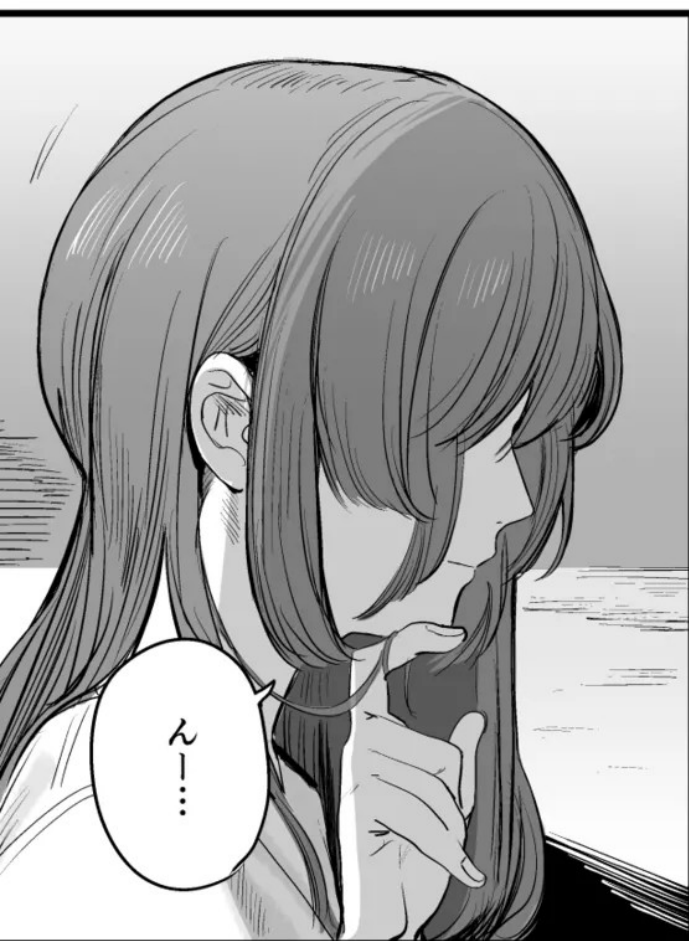
そりゃ
わかるよー

だって
帆士くん
全然変わって
ないもん

そ
そう？

それを言うなら
すみちゃんだって
……

全然
変わってない



ん……

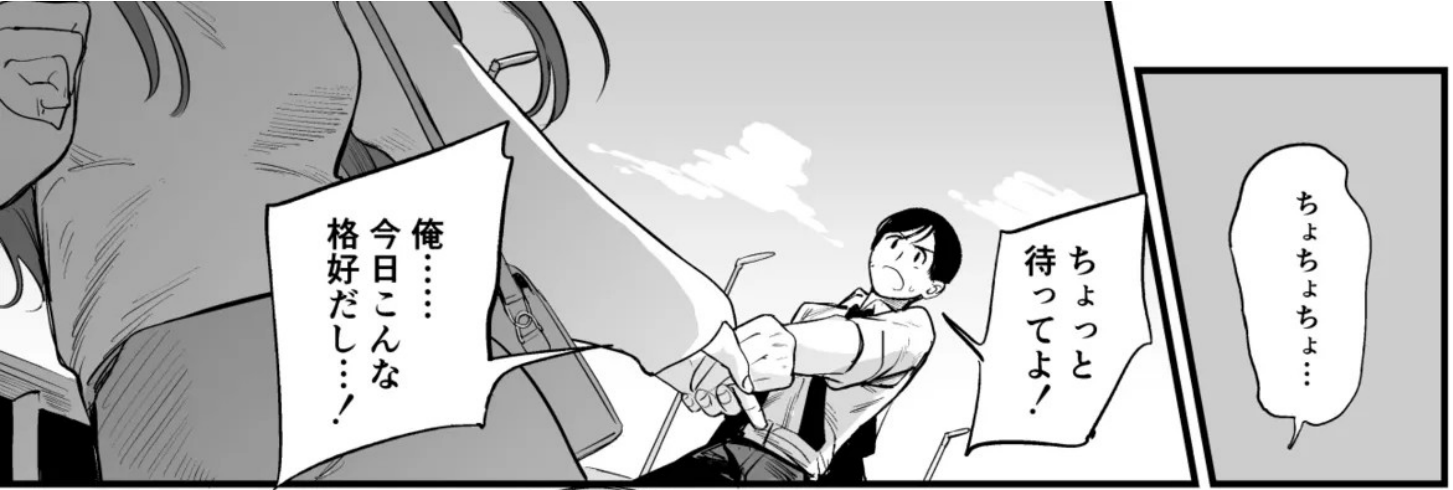
帆士くんが
そう言うなら
そうなのかも？

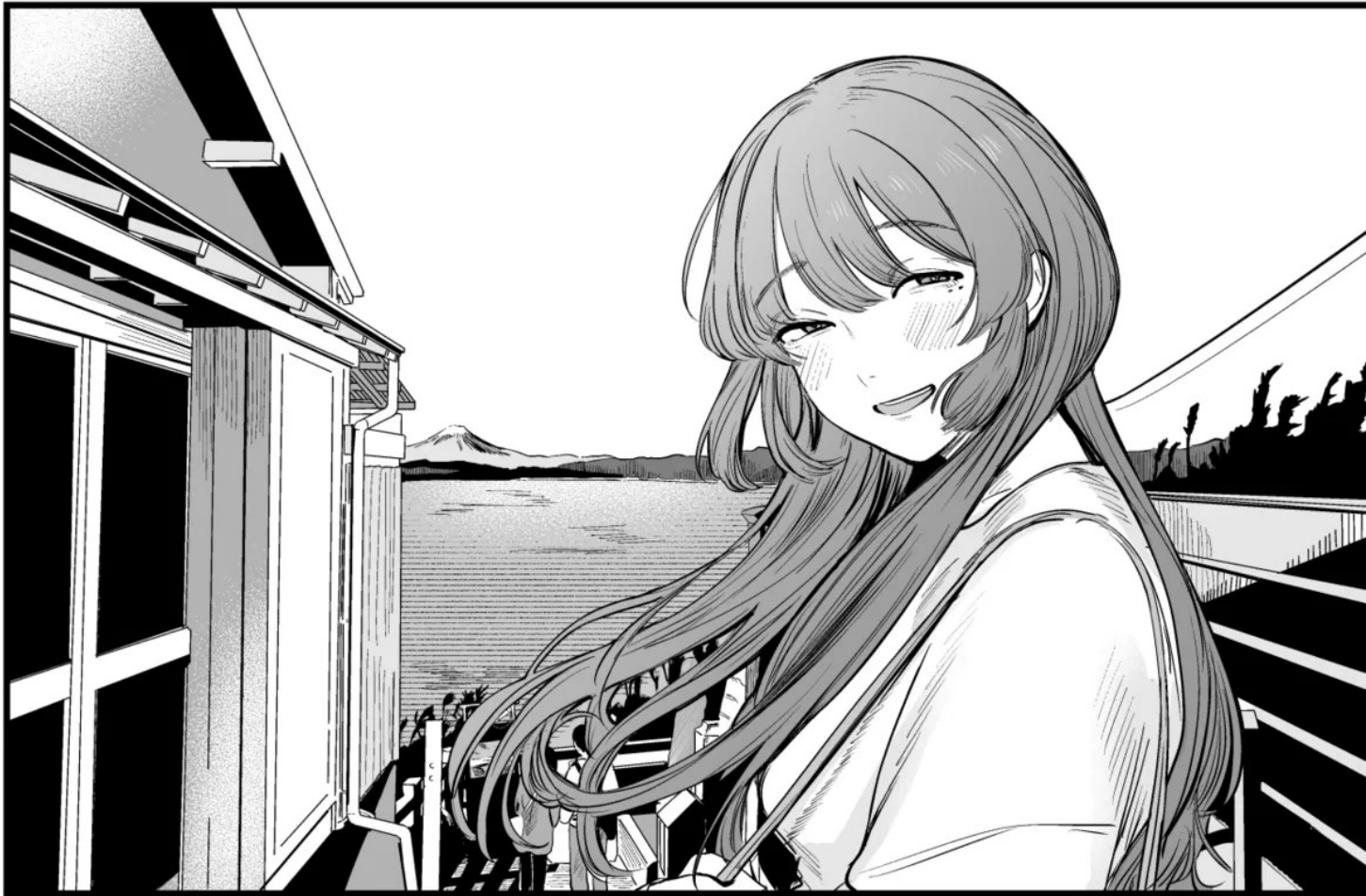
あれ
……

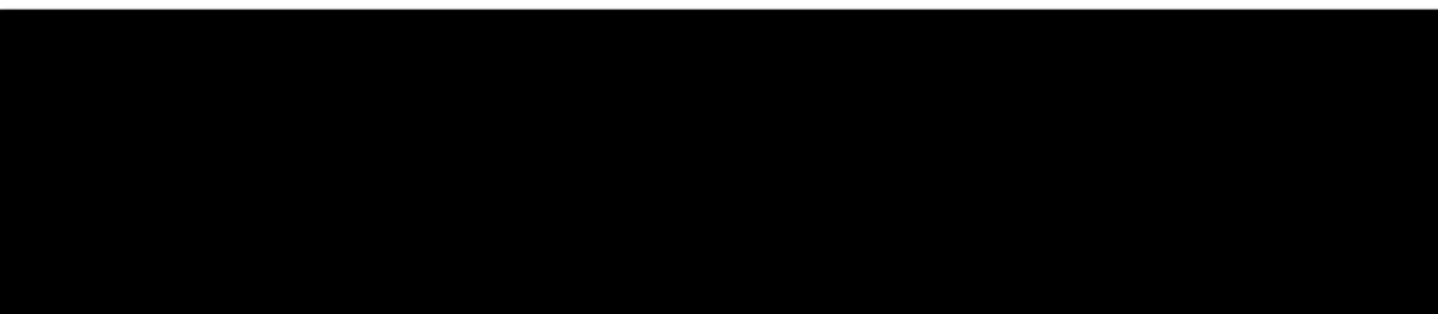
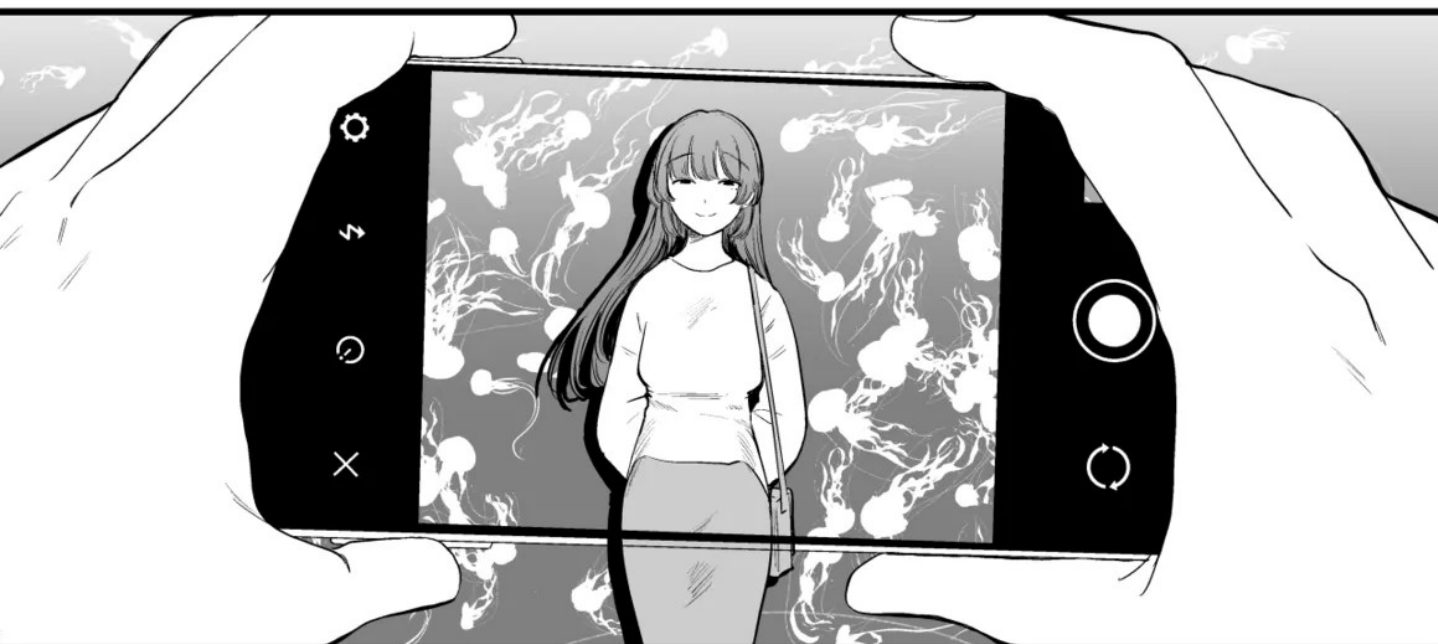
いま俺
なんか
へんなこと
言った……？

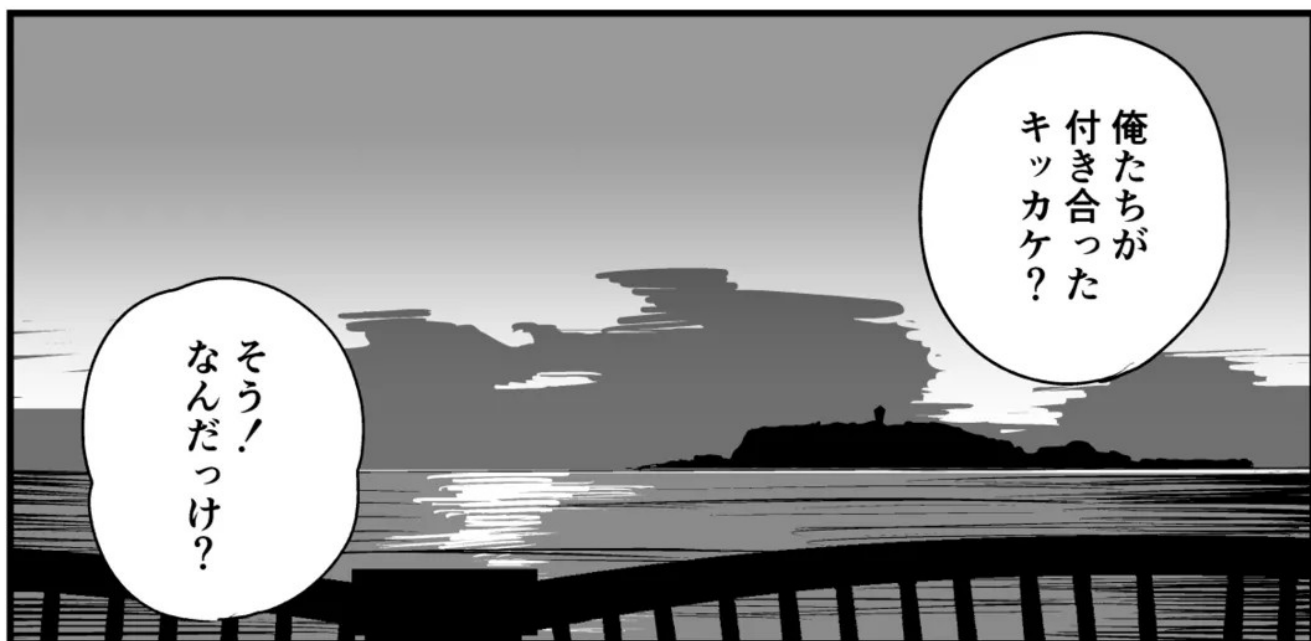






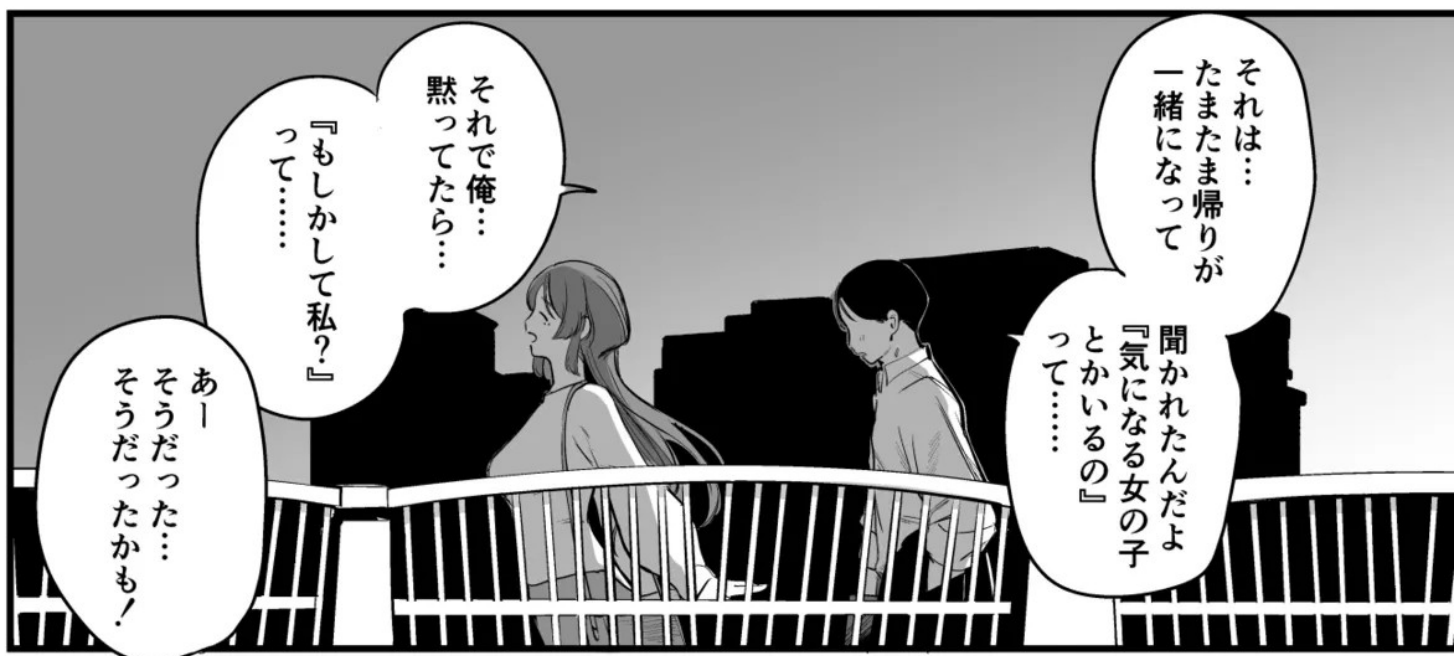






俺たちが
付き合った
キツカケ？

そう！
なんだっけ？



それは…
たまたま帰りが
一緒になって

聞かれたんだよ
『気になる女の子
とかいるの』
って……

それで俺…
黙ってた……

『もしかして私？』
って……

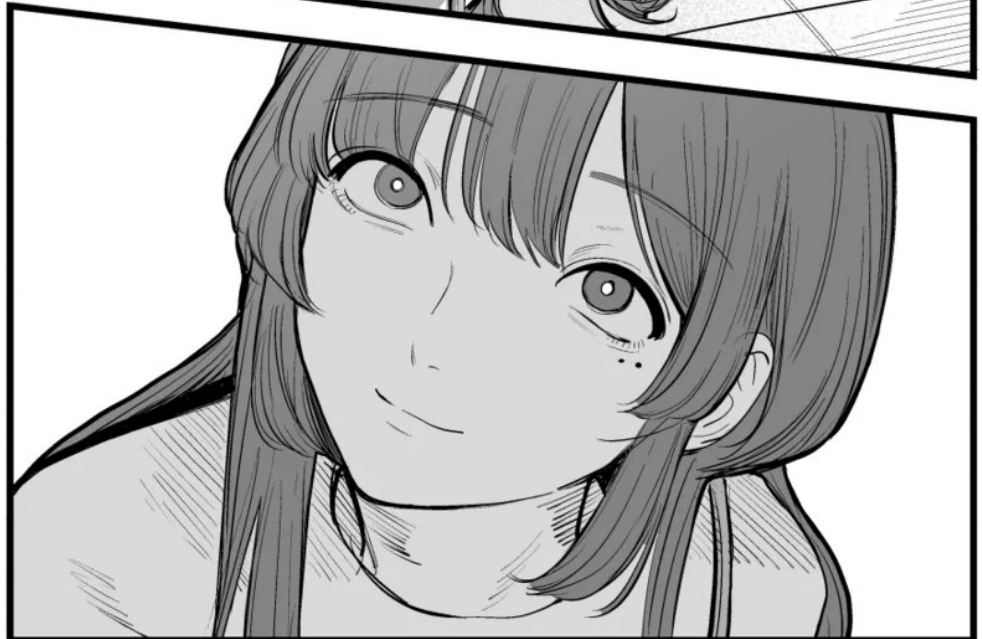
あー
そうだった…
そうだったかも！

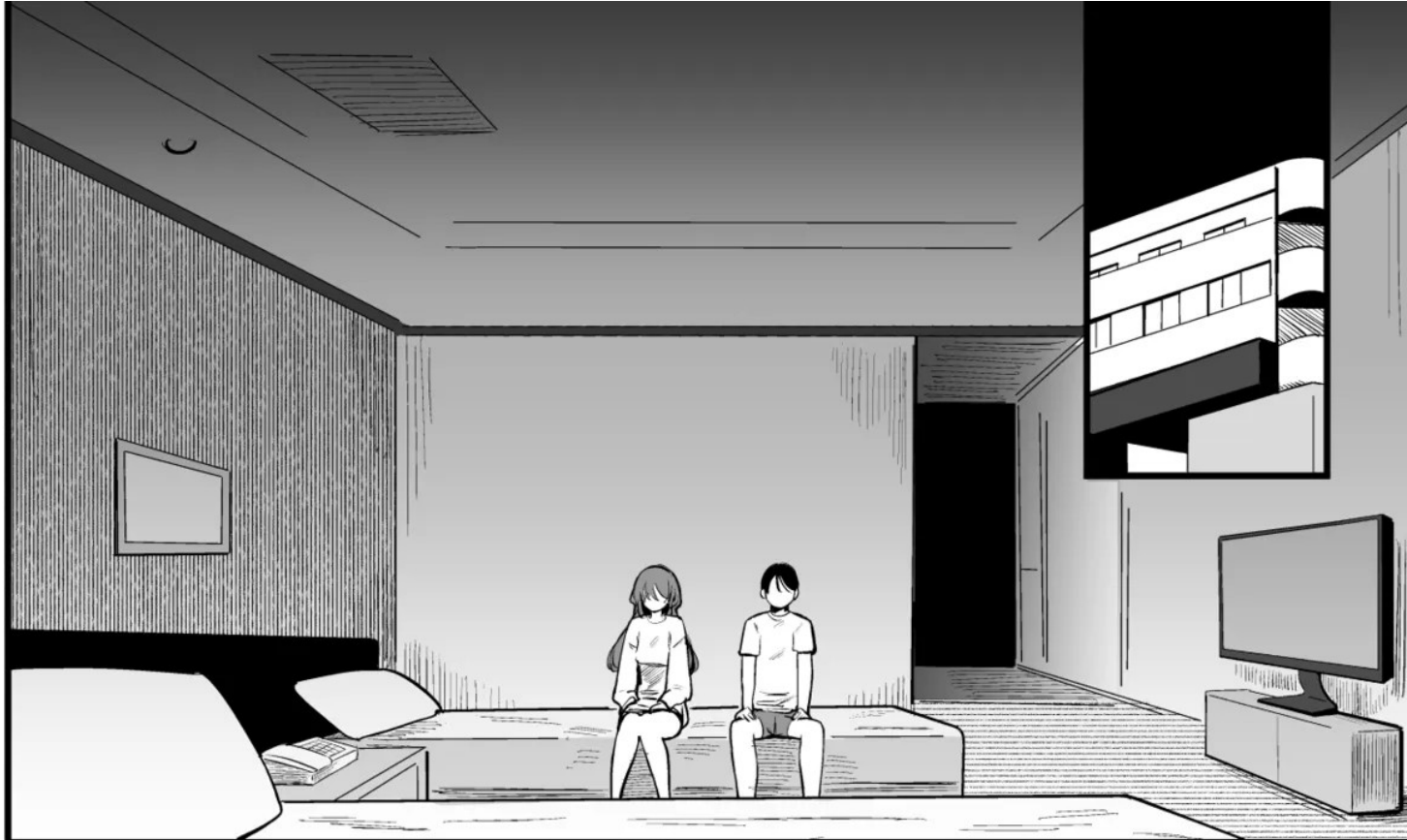


はは…



アハ
なんか
帆士くん
らしーね



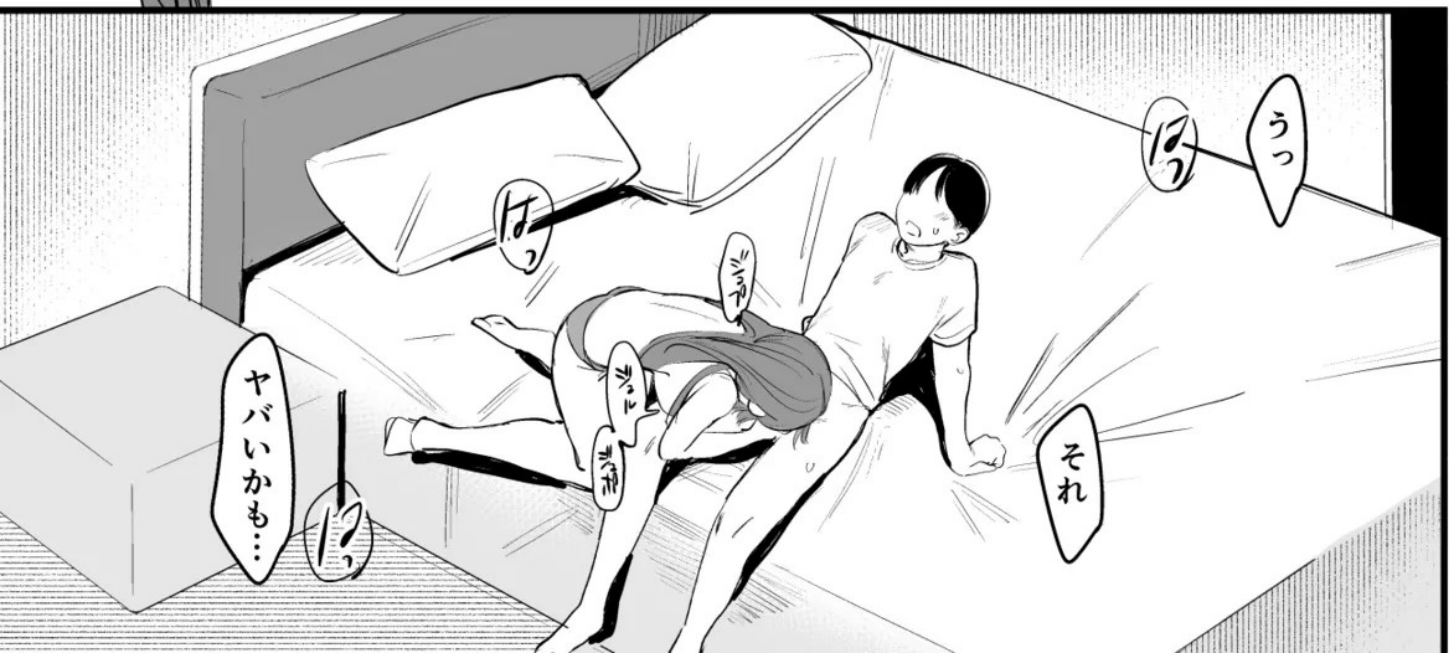
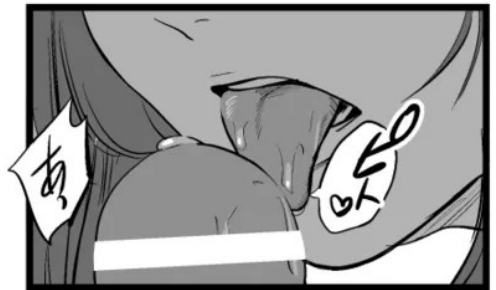


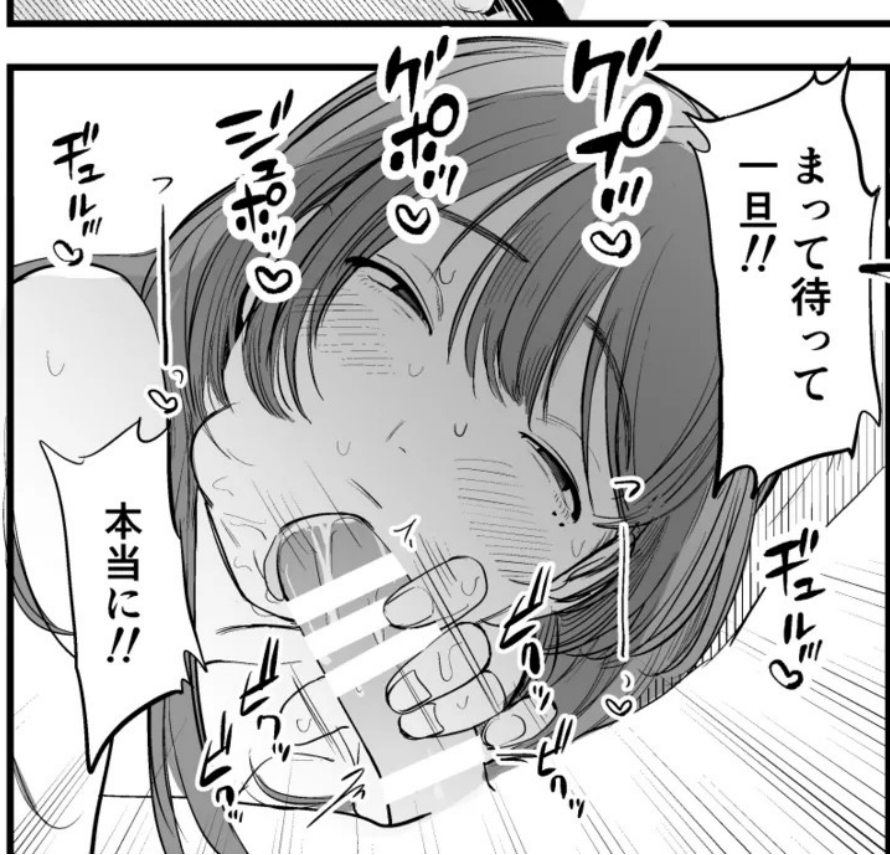




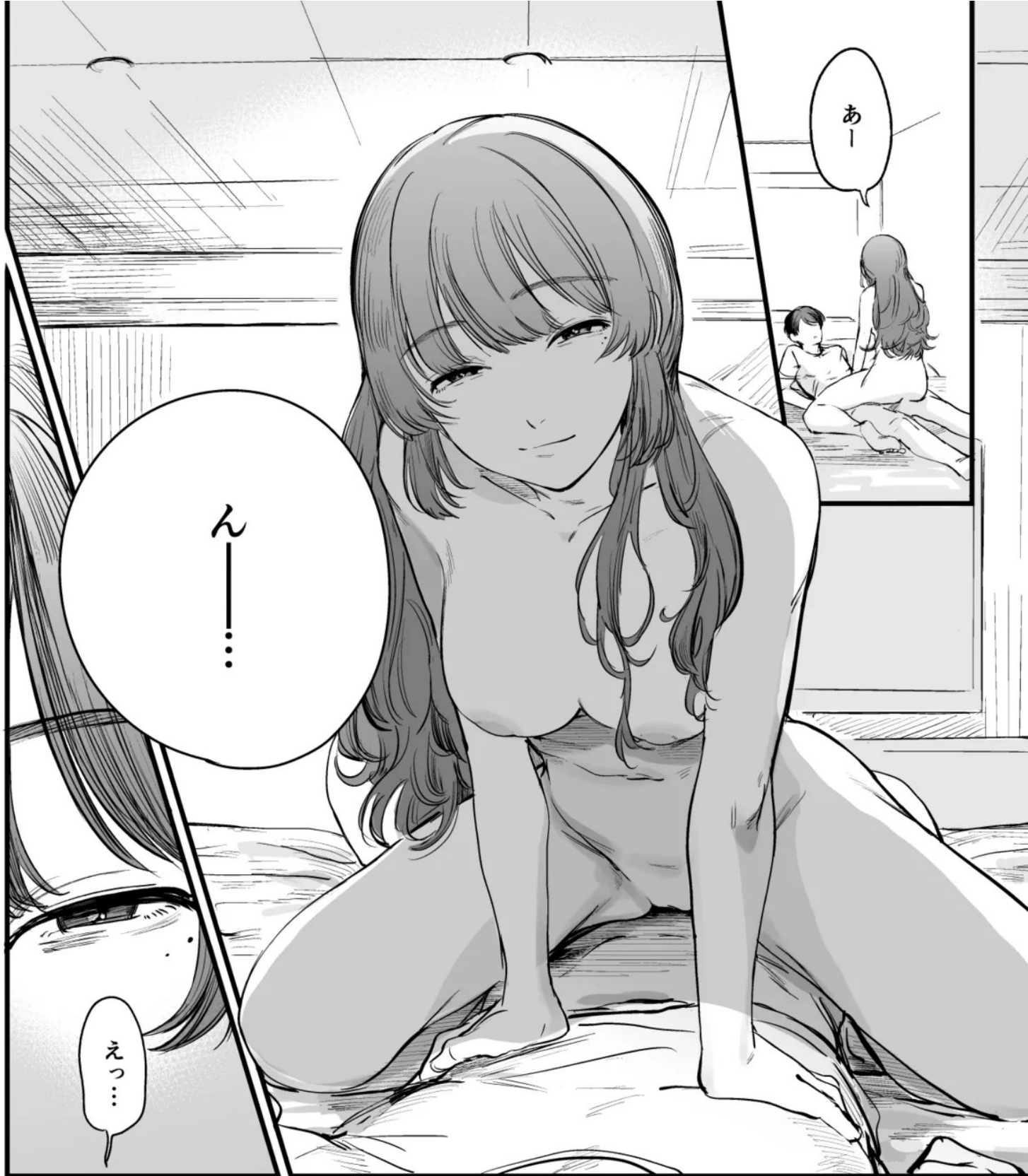












いや…
それは！

スミちゃんが
大切だから
……

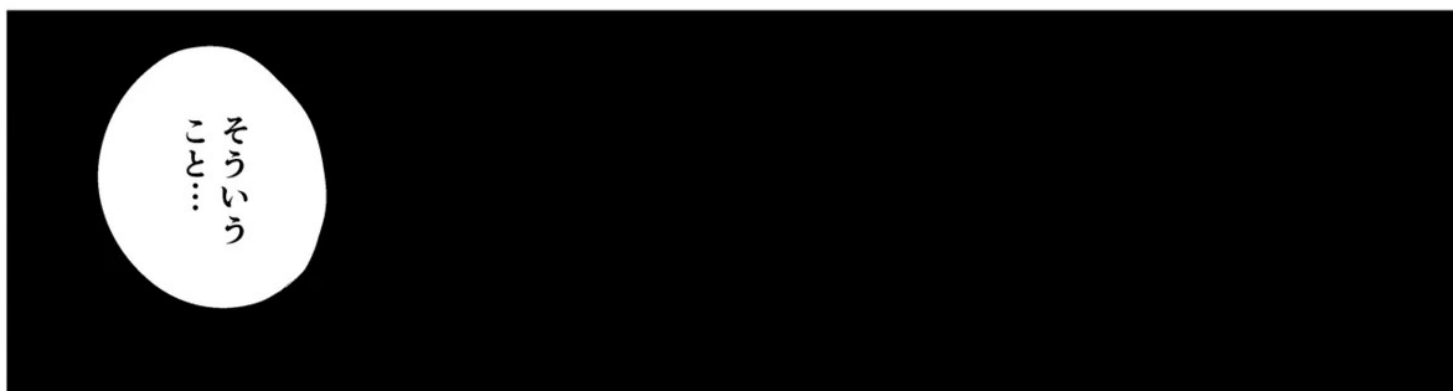
まあね？

変わらないのは
帆士くんの
自由だもんね？

でもさー
……

優しいって
いうのは
別に――

褒めてる
ワケじゃ
ないからね
……？







どうせ
なんにも
できないん
だから…



慣れないこと
してちゃってさ…
無理しない方が
いいよ

怒って…
突き飛ばして…
それから
どうするの？

…で？



あっ
え!?

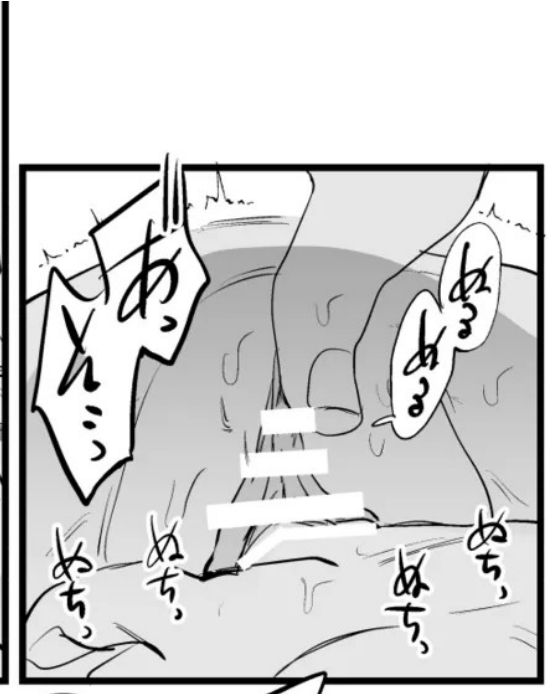


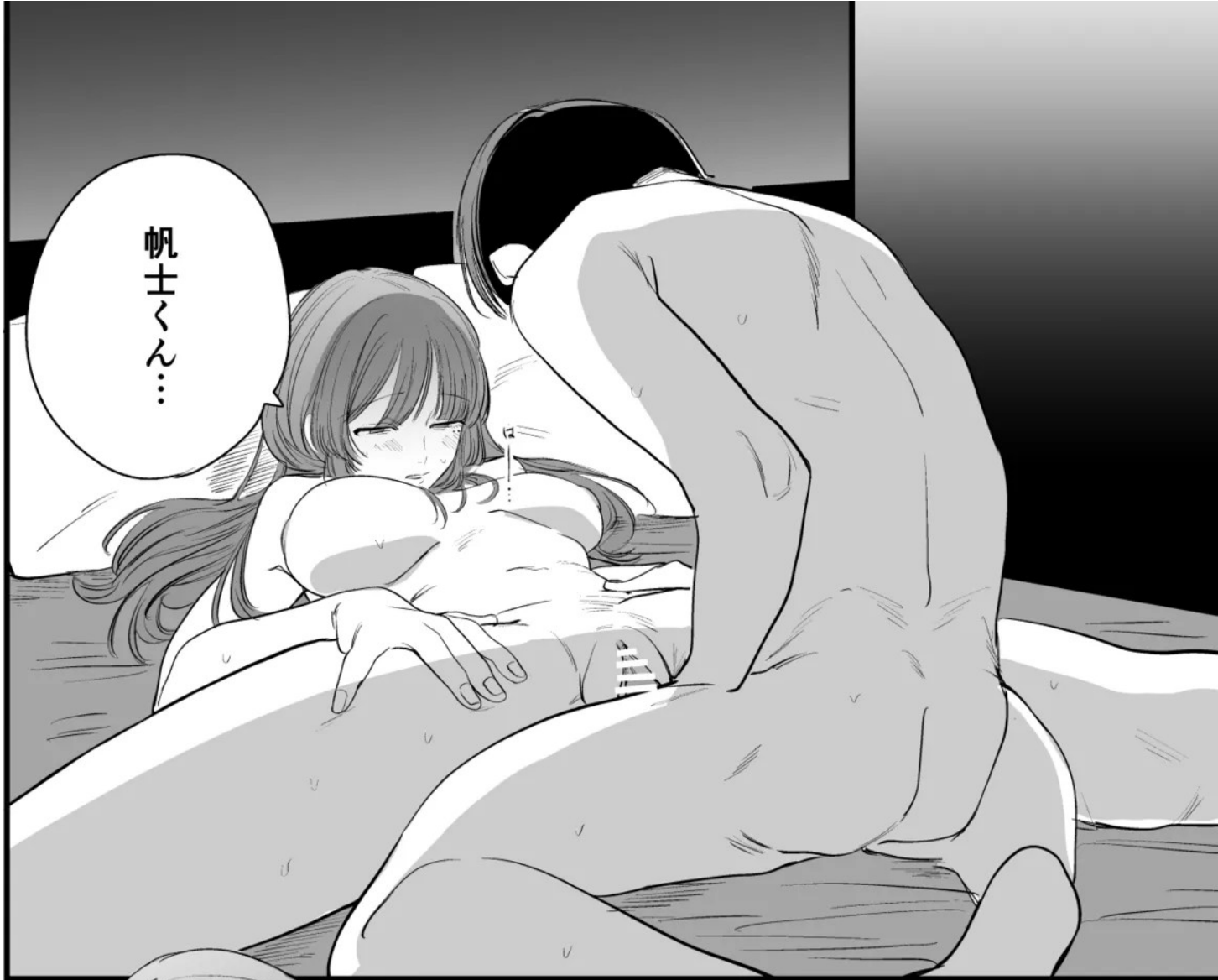
こんつ…
……

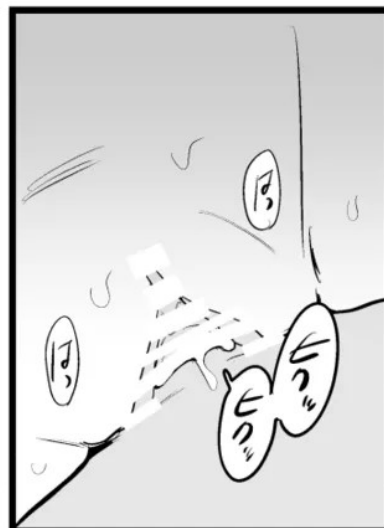


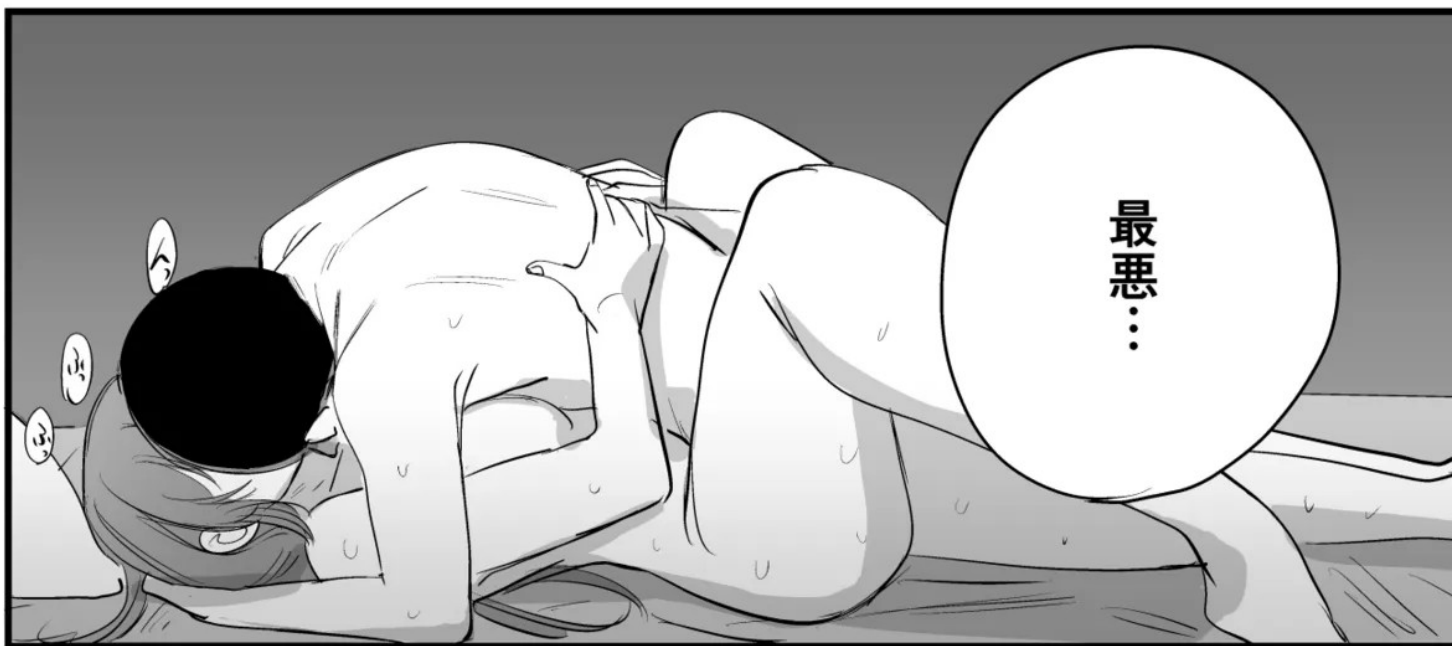
ちよつと…
何してるの!?

こんな…ッ



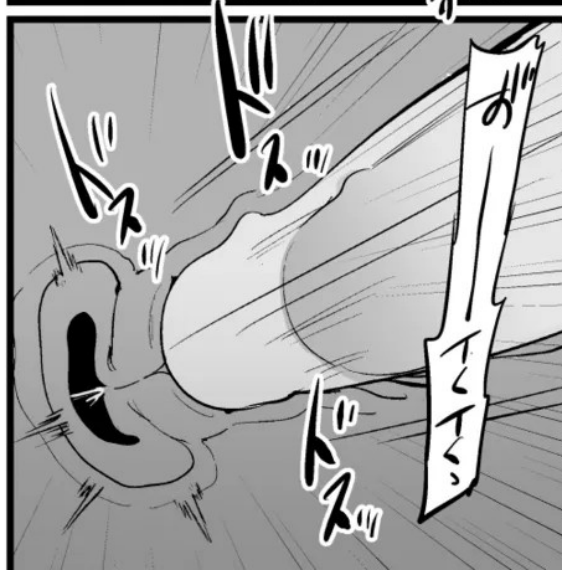


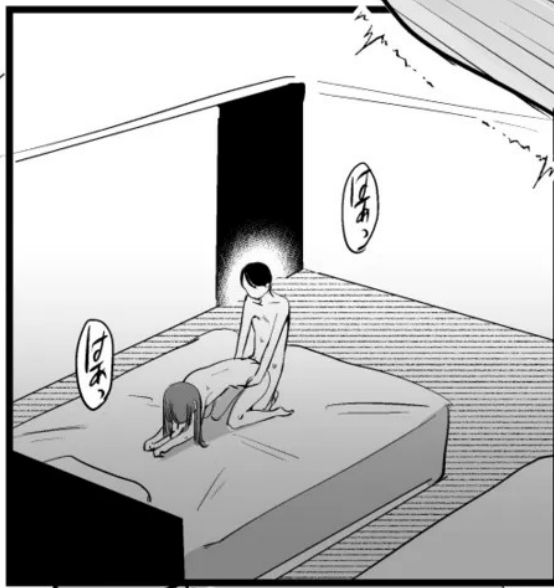
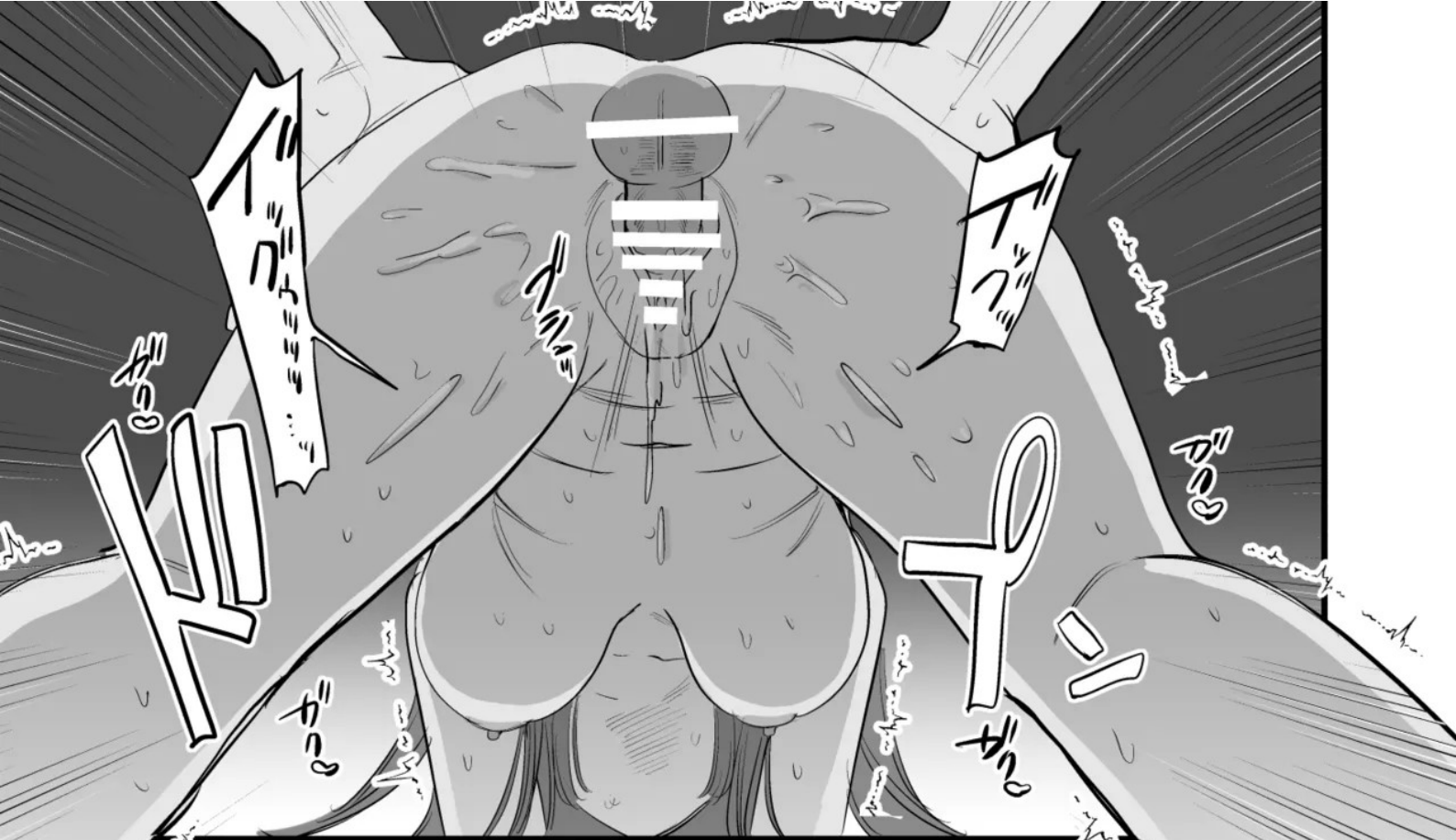


















もし
あのとき



スミちゃんともっと
話していたら

スミちゃんをもっと
知ろうとしていたら



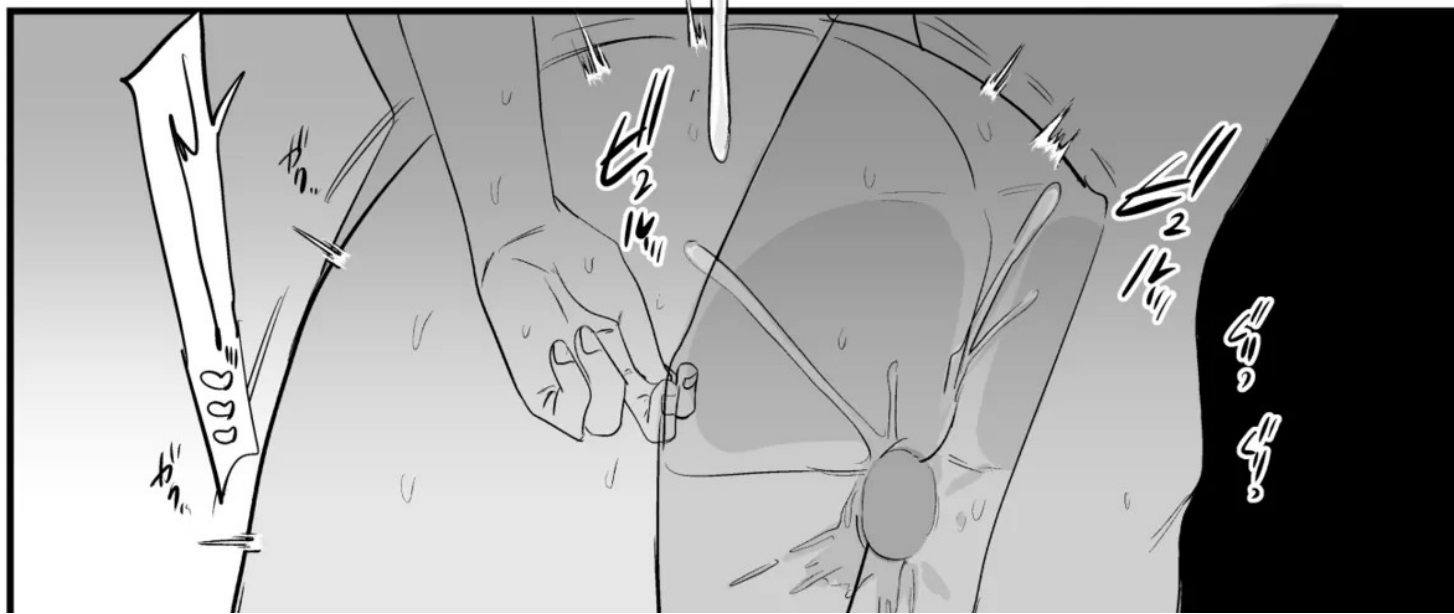
スミちゃんから
逃げずに
向き合っていたら



違う
未来だって――

帆士くん！











仕事やめよ…

『初恋は苦い青春の味』

発行日 2024年11月17日

発行者 siu

サークル ホクロを忘れるな.

連絡先 cuu5_etml@gmail.ne.jp

印刷 サングループ



pixivFANBOX:
<https://cu-u5.fanbox.cc/>



X:
https://x.com/Onikuya_san_



ネーム版の表紙

キャラデザ時のスミちゃん
長い髪を描き慣れていなかったため
苦労している様子が窺える



お読みいただきありがとうございました！
Special Thanks : ネーム版を読んだ皆さま



優しいっていうのは別に——
褒めてるわけじゃないからね……？

仕事に疲弊し現実から逃げるように江ノ島を訪れた帆土^{ほし}の前に現れたのは、
高校時代の彼女、『スミちゃん』だった。
当時と変わらない態度で接してくれる『スミちゃん』に対し、帆土は
戸惑いながらも徐々にその明るさに惹かれていく。
ところが、『スミちゃん』には思うところがあって——